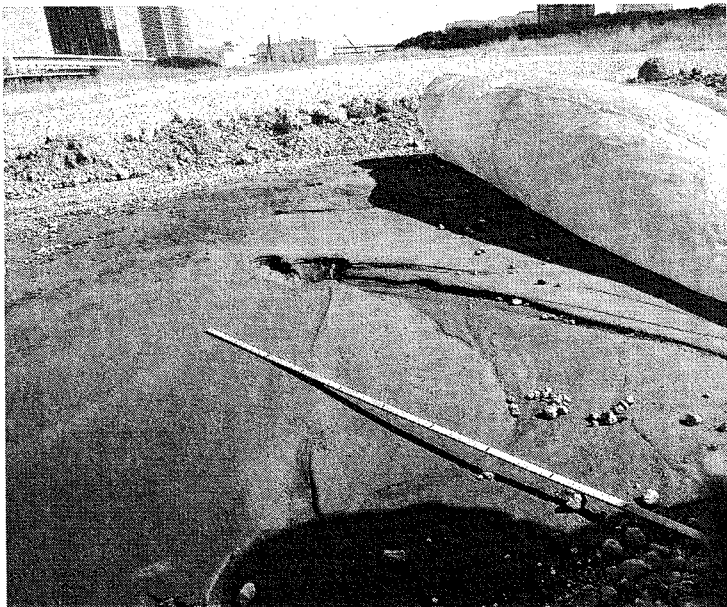


築地市場移転予定地

液状化90カ所

都は計画やめよ 党都議団

石原慎太郎東京都知事(豊洲)で、東日本大震災により約90カ所(中央区)の移転先とする東京ガス工場跡地(江東区)の移転先とする東



液状化した豊洲新市場予定地の土壌。写真中の長尺は1尺=東京都江東区(日本共産党都議団撮影)



都側(左)に申し入れる日本共産党都議団=22日、都庁

区豊洲)で、東日本大震災により約90カ所(中央区)の移転先とする東京ガス工場跡地(江東区)の移転先とする東

地が地震に弱い地域であることが、改めて浮き彫りになりました。申し入れでは、深刻な土壌汚染のある同地が市場用地としては論外であることに加え、豊洲の液状化対策などは阪神・淡路大震災程度の震度6強にとどまり、「今回、地震からの安全性という点でも不適であることが明らかになった」と強調。築地市場は壁がひび割れ、モルタルがはがれるなどの被害があったものの、液状化などは起きなかったことを示し、築地市場の施設に一定の耐震性があると指摘しました。

①東京ガスから用地を買収する手続きを中止する②液状化で汚染物質の存在する場所が変化した可能性があり、液状化と土壌汚染の全面的調査を行う③豊洲の液状化対策が震度7の地震や津波に対してどうなるか明らかにす

染調査や液状化対策の検討は日本環境学会など移転に批判的な研究者を加えて行うこと「後日、文書で回答します」と答えました。

岡田至中央卸売市場長は約90カ所で噴砂が起きたことを認め、